

2学期の終業式式辞

平成29年12月22日（金）

皆さんおはようございます。

2学期が終了します。今年度はまだ3学期もありますが、1年の終わりということで普通の月替わりとは違って新年を迎えるという特別な気持ちになります。今一度、「入学したときどんなことを思っていたか」「自分が理想とする高校生活は」「自分のしたいことはなんだろう」と自分自身に問いかけて一年の振り返りをした上で、新年の決意をしてください。

さて、どの学年の皆さんとも「講話」や「総合的な学習の時間」「LHR」等で何度か話しをする機会がありました。3年生の皆さんが1年生の時には各クラスで授業をしました。皆さんの意見を聞いたり、考えていることを書いてもらいました。「すぐに諦める性格を変えたい」「しっかり人に自分の意見を言えるようになりたい」「色々な事に挑戦したい」「自分のやっていることが本当に正しいのか知りたい」「もっと積極的になりたい」「周りに流されずにしっかり自分の考えをもって行動したい」等、皆さんどの生徒も持っている、もっと自分がよくなりたいという強い思いに触れることもできました。それぞれ一生懸命頑張っている姿もよく見られました。

一方で、私は皆さんを見ていて少し気になっていることがあります。うまくいかない、自分の思いが相手に伝わらない、自分にとって嫌なことが起こった等、解決しないといけない問題や壁にぶつかった時の皆さんの様子がとても気になっています。何となくやり過ごして後回しにしてしまったり、その場しのぎであまり考えずに行動してしまうというようなことが見受けられました。

皆さんには、何かうまくいかない事や壁にぶつかった時に、嫌なことを避けたり、人任せにしてしまうのではなく、それに正面からしっかり向き合い、どうすればいいかを考えて、解決しようという姿勢で取り組んでもらいたい。そのための力と心の強さを持って欲しいと思います。そして、たとえすぐにうまくいなくても、継続してふんばって欲しいと思っています。

これから皆さんは急激に大きく変化していく社会の中で生きていかなければなりません。AI（人工知能）の発達により、職業も大きく変わっていくと言われています。なくなってしまう職業もたくさんあると言われています。私たち人間はこれからどうしていったらいいのでしょうか。

今から40～50年くらい前でしょうか、コンピュータの発達によりATM（自動現金預け払い機）ができました。Automated Teller Machineの略です。Tellerとは、銀行の金銭出納係で、現金の出し入れは銀行窓口で行っていました。その時に、銀行窓口がなくなる、窓口で働いている人の職がなくなるのではないかと言われました。今銀行の窓口はありますが、昔のように現金を預けたり引き出したるだけの仕事ではなく、マネープランのコンサルティングや保険、投資などの営業の職も窓口で行っています。お金の出し入れだけの仕事は機械ができるので、人間が行わなければならない仕事に窓口業務の内容が変わってきたわけです。

現在、コンピュータの仕事がさらに複雑になって、人間のように考えて判断することもできるようになってきています。ディープラーニング（深層学習）といって複雑な学びをさせるわけです。ある事柄について、色々な道筋を学ばせます。そしてたどり着いたところから、また、逆にもとの事柄に戻していく道筋を教えます。それをもっともっと多くの事柄について複雑に行っていきます。人間が脳で学ぶのと同様のことをコンピュータにさせます。それをディープラーニングといいます。単なる計算や単純な作業ではなく、色々な判断や意志決定も人間に代わってできるようになるわけです。銀

行窓口の仕事、車の運転、荷物の配達、レジ係もレストランの案内係も、これまで人間が行ってきた仕事が機械に置き換えられる可能性が非常に高くなりました。

さて今度、人間は何をしなければならないのでしょうか。未知の世界にこれから飛び込んでいく不安があります。いったい人間とは何なのかより真剣に考えざるをえない、そういう時代になってきつつあります。

私は、今私たちができること、すべき事は、人間としての生き方についてじっくり考え続けることだと思っています。人間の根本を問い続けながら、心の支え、心の強さをしっかり身につけていくべきなのではないかと私は考えています。そして、「人間ていいもんだなあ」と感じられる生き方をしていければなと思っています。

学校では、授業や色々な活動を通して、知識とともに、皆さんに考える機会を与えています。そして全ては皆さんの人間としての成長を最も大切なことと考えて、教育をしています。最初にお話ししたように皆さんの人間として生きていくための力、心の支え、心の強さをしっかり身につけて欲しいと考えています。

自分のまわりで起こっている色々な事に対して、なんとなくあやふやにごまかすのではなく、正面からしっかり向き合って取り組む姿勢を作ろうと努力し続けて欲しいと思います。難しい事で、すぐにできないかもしれませんが、しようとする、そしてそれを継続することがまず大切です。そして自分の力で様々な山を乗り越え、克服する力を身につけてください。

さて、3年生の諸君、いよいよ高校生活の最後のページを迎えようとしています。受験を控えている人は、実はこれからの踏ん張りで大きく伸びます。これまでやってきたことを信じて、自分を信じて最後まで諦めずに取り組んでください。

またすばらしい一年が始まることを願って2学期終業式の式辞とします。